



2024年11月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月14日

上場会社名 note株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5243 URL https://note.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 加藤 貞顕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 鹿島 幸裕 (TEL) 050(1751)2329
 定時株主総会開催予定日 2025年2月24日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2025年2月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期の連結業績 (2023年12月1日～2024年11月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期	3,312	—	52	—	75	—	98	—
2023年11月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年11月期 98百万円(—%) 2023年11月期 ー百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年11月期	6.44	6.34	5.8	2.0	1.6
2023年11月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2024年11月期 ー百万円 2023年11月期 ー百万円

(注) 2024年11月期より連結財務諸表を作成しているため、2023年11月期の数値及び対前期増減率については記載して
 しておりません。また、2024年11月期の自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は、連結初年度のため、そ
 れぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年11月期	3,769	1,722	45.2	110.63
2023年11月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年11月期 1,702百万円 2023年11月期 ー百万円

(注) 2024年11月期より連結財務諸表を作成しているため、2023年11月期の数値については記載して
 しておりません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年11月期	225	△9	△38	2,166
2023年11月期	—	—	—	—

(注) 2024年11月期より連結財務諸表を記載しているため、2023年11月期の数値については記載して
 しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年11月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年11月期の連結業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	4,010	21.1	60	13.5	80	6.4	110	11.2	7.15

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2社（社名）note AI creative 株式会社、Tales & Co. 株式会社、除外 社（社名）
会社

（注）2023年12月より「note AI creative株式会社」を連結子会社としております。また、2024年5月より「Tales & Co. 株式会社」を連結子会社としております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年11月期	15,390,500株	2023年11月期	15,234,200株
② 期末自己株式数	2024年11月期	123株	2023年11月期	—株
③ 期中平均株式数	2024年11月期	15,357,815株	2023年11月期	15,086,015株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について）

当社は、2025年1月14日（火）に機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料はTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度においては、世界的な資源価格の高騰や不安定な為替の動向、商品・サービスの値上げによる物価高等により依然先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする。」をコーポレートミッションとして掲げ、クリエイターがユーザーとコミュニケーションをとりながらデジタルコンテンツを創作・公開・販売できるプラットフォーム「note」を中心としたメディアプラットフォーム事業を展開しております。また、2024年5月にTales & Co. 株式会社を設立し、IP・コンテンツクリエイション事業を展開しております。当社グループは、インターネット上にクリエイター・メディア・ファンをつなぐエコシステムを構築することを目指しています。

当連結会計年度の売上高は3,312,248千円となりました。また、営業利益は52,844千円、経常利益は75,183千円、親会社株主に帰属する当期純利益は98,939千円となりました。

当社グループは、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度との比較・分析の記載はしていません。報告セグメントにつきましても、メディアプラットフォーム事業及びIP・コンテンツクリエイション事業の2つを報告セグメントとしております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(メディアプラットフォーム事業)

メディアプラットフォーム事業では、CtoCメディアプラットフォーム「note」の運営、法人向け情報発信メディアSaaS「note pro」の運営、「note」上での企業協賛型コンテストの実施等を中心とした法人向けサービスに取り組んでおります。

「note」については、継続的な機能改善によってプラットフォームに集まるユーザー・コンテンツが順調に増加しており、2024年11月末時点で累計会員登録者数は893万人、公開コンテンツ数は5,107万件となりました。当第4四半期会計期間における流通総額は4,344百万円（前年同期比23.1%増）となり、引き続き高水準で推移しています。「note pro」については、機能強化やnoteのサービス成長に伴う企業からの認知度向上などにより引き続き利用企業は増加しており、2024年11月末時点でARR^{(注)1}は563百万円（前年同期比20.4%増）となりました。法人向けサービス事業については、「note」のユーザー数増加などにより、「noteコンテスト」案件が堅調に推移しております。

この結果、メディアプラットフォーム事業の売上高は3,298,606千円となりました。その内訳は、note売上高2,680,777千円、note pro売上高514,857千円、法人向けサービス売上高81,506千円、その他売上高21,464千円です。また、セグメント利益は63,145千円となりました。

(注) 1. ARR=Annual Recurring Revenueは、各四半期末月のMRR^{(注)2}を12倍したものの。

2. MRR=Monthly Recurring Revenueは、月次経常収益。MRRには、note proの基本料金に加え、一部オプション料金も含む。

(IP・コンテンツクリエイション事業)

IP・コンテンツクリエイション事業では、クリエイターの企画や作品のエージェント、コンテンツ制作・販売、外部企業からの企画・コンテンツ制作受託などに取り組んでおります。

この結果、IP・コンテンツクリエイション事業の売上高は13,642千円、セグメント損失は10,301千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は3,671,436千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金2,154,912千円、売掛金195,711千円、未収入金1,209,473千円です。固定資産は97,715千円となりました。その内訳は、有形固定資産10,311千円、投資その他の資産87,404千円です。

この結果、総資産は、3,769,151千円となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は2,046,987千円となりました。その主な内訳は、契約負債145,199千円、預り金1,577,858千円です。固定負債はありません。

この結果、負債合計は2,046,987千円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は1,722,164千円となりました。その主な内訳は、資本金30,964千円、資本剰余金1,987,652千円、利益剰余金△315,903千円です。

この結果、自己資本比率は45.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,166,058千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、225,762千円となりました。これは主に、「note」の流通総額の伸長などによる未収入金の増加額206,779千円などにより資金が減少した一方で、同じく「note」の流通総額の伸長によってクリエイター向けの預り金が増加したことなどによる預り金の増加額281,999千円及び税金等調整前当期純利益76,154千円などにより資金が増加したことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、9,771千円となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出9,460千円などにより資金が減少したことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、38,140千円となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入41,929千円により資金が増加した一方で、長期借入金の返済による支出80,000千円などにより資金が減少したことによります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、「note」の安定的かつ継続的な成長を軸として、さらなる成長のため各種サービスの競争力の源泉となる機能開発に投資を進める方針です。

2025年11月期の連結業績は、「note」及び「note pro」の更なる利用ユーザー獲得に向けた機能開発や各種施策の実施ならびに新規事業の売上貢献による成長を背景に、売上高は4,010百万円（2024年11月期比21.1%増）を見込んでおります。また、新規事業を中心とした事業成長のための人材等への投資（詳細は同日開示の決算説明資料P.45を参照）を想定した結果、営業利益は60百万円（2024年11月期比13.5%増）、経常利益は80百万円（2024年11月期比6.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は110百万円（2024年11月期比11.2%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。なお、国際会計基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

		当連結会計年度 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		2,154,912
売掛金		195,711
商品及び製品		830
仕掛品		612
未収入金		1,209,473
その他		109,895
流動資産合計		3,671,436
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）		925
工具、器具及び備品（純額）		9,386
有形固定資産合計		10,311
投資その他の資産		
繰延税金資産		26,590
敷金及び保証金		60,814
投資その他の資産合計		87,404
固定資産合計		97,715
資産合計		3,769,151
負債の部		
流動負債		
買掛金		3,474
1年内返済予定の長期借入金		80,000
未払法人税等		3,804
契約負債		145,199
預り金		1,577,858
その他		236,650
流動負債合計		2,046,987
負債合計		2,046,987
純資産の部		
株主資本		
資本金		30,964
資本剰余金		1,987,652
利益剰余金		△315,903
自己株式		△69
株主資本合計		1,702,643
新株予約権		19,520
純資産合計		1,722,164
負債純資産合計		3,769,151

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
売上高	3,312,248
売上原価	201,980
売上総利益	3,110,268
販売費及び一般管理費	3,057,424
営業利益	52,844
営業外収益	
受取利息	169
違約金収入	30,417
その他	4,512
営業外収益合計	35,100
営業外費用	
支払利息	685
為替差損	10,734
その他	1,340
営業外費用合計	12,760
経常利益	75,183
特別利益	
固定資産売却益	971
特別利益合計	971
税金等調整前当期純利益	76,154
法人税、住民税及び事業税	3,805
法人税等調整額	△26,590
法人税等合計	△22,785
当期純利益	98,939
親会社株主に帰属する当期純利益	98,939

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
当期純利益	98,939
包括利益	98,939
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	98,939
非支配株主に係る包括利益	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,000	1,966,687	△414,843	—	1,561,844
当期変動額					
新株の発行	20,964	20,964			41,929
親会社株主に帰属する 当期純利益			98,939		98,939
自己株式の取得				△69	△69
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	20,964	20,964	98,939	△69	140,799
当期末残高	30,964	1,987,652	△315,903	△69	1,702,643

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	—	1,561,844
当期変動額		
新株の発行		41,929
親会社株主に帰属する 当期純利益		98,939
自己株式の取得		△69
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	19,520	19,520
当期変動額合計	19,520	160,319
当期末残高	19,520	1,722,164

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	76,154
減価償却費	9,307
固定資産売却損益 (△は益)	△971
受取利息	△169
支払利息	685
株式報酬費用	19,520
売上債権の増減額 (△は増加)	△18,130
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,158
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,545
未収入金の増減額 (△は増加)	△206,779
契約負債の増減額 (△は減少)	36,708
預り金の増減額 (△は減少)	281,999
その他	29,084
小計	228,796
利息の受取額	169
利息の支払額	△685
法人税等の支払額	△2,520
法人税等の還付額	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	225,762
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,389
有形固定資産の売却による収入	1,078
敷金及び保証金の差入による支出	△9,460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,771
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△80,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	41,929
自己株式の取得による支出	△69
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,140
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	177,850
現金及び現金同等物の期首残高	1,988,208
現金及び現金同等物の期末残高	2,166,058

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に「メディアプラットフォーム事業」及び「IP・コンテンツクリエイション事業」を展開しております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「メディアプラットフォーム事業」では、CtoCメディアプラットフォーム「note」の運営、法人向け情報発信メディアSaaS「note pro」の運営、「note」上での企業協賛型コンテンツの実施等を中心とした法人向けサービスに取り組んでおります。

「IP・コンテンツクリエイション事業」では、クリエイターの企画や作品のエージェント、コンテンツ制作・販売、外部企業からの企画・コンテンツ制作受託などに取り組んでおります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表を作成するために適用した会計処理と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			連結財務諸表 計上額 (注)
	メディア プラット フォーム事業	IP・コンテンツク リエーション事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,298,606	13,642	3,312,248	3,312,248
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,298,606	13,642	3,312,248	3,312,248
セグメント利益又は損失 (△)	63,145	△10,301	52,844	52,844
セグメント資産	3,723,721	45,430	3,769,151	3,769,151
セグメント負債	2,039,235	7,751	2,046,987	2,046,987
その他の項目				
減価償却費	9,307	—	9,307	9,307
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,389	—	1,389	1,389

(注) セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
1株当たり純資産額	110.63円
1株当たり当期純利益	6.44円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	6.34円

(注) 1 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	98,939
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	98,939
普通株式の期中平均株式数(株)	15,357,815
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—
普通株式増加数(株)	249,099
(うち新株予約権(株))	(249,099)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権3種類 (新株予約権の数1,475 個)

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度末 (2024年11月30日)
純資産の部の合計額(千円)	1,722,164
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	19,520
(うち新株予約権(千円))	(19,520)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,702,643
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	15,390,377